

私たちの活動を紹介します

大山町

だいせんそうへいだいこ 大山僧兵太鼓保存会

<リーダー> おぐらこういち小椋康一さん

<設立>昭和51年春
<会員>21名
<活動内容>大山僧兵太鼓の演奏
<問合せ先>地元食材が味わえる宿 川床屋
電話：0859-52-2436



大山夏山開き祭りでの太鼓演奏

伝統芸能を作りだす

大山僧兵太鼓保存会は、大山寺住職をはじめ、大山寺の各旅館の代表者や従業員、大山周辺の在住者で活動しています。

活動の大きな目的は二つあります。一つ目は大山の観光振興です。そして二つ目は歴史を語り継ぐということです。

昭和48年、大山観光の起爆剤として何かないかと考えていた時、古文書に「昔大山には三千人の僧兵がおり、その集合、出陣、解散等の一切の合図は法螺貝および太鼓による」と記されていたことが分かりました。

大山は古くから霊山として信仰の山であり、その麓にある大山寺は山岳信仰の霊場だったことは有名ですが「僧兵三千人を抱え中国地方に強大な勢力を保持していた」という歴史的事実を知る人は多くありません。

この史実を形にして、多くの人に知ってもらいたい。そして郷土芸能として定着させ、新たな観光資源につなげたいと、山梨県甲府市指定無形文化財保持者で、太鼓の作曲演奏では当代随一といわれた(故)天野宣氏あまの せんにお願いし、「南無大智咽大権現大山僧兵太鼓」が完成しました。

太鼓で伝える僧兵の生き様

僧兵太鼓は、戦勝祈願から始まり、出頭太鼓しゅつとう続いて荒業、天狗舞しのび おしかけ、一騎打、死守そして鎮魂の10セッションで成りたっています。僧兵を思わせるコスチュームを身につけ、祈りを込めた独特なリズムは、他の祭り太鼓には類をみない特異な太鼓です。僧兵の勇姿が皆様に伝わることを大切に、日々練習をしています。

大山開山1300年祭の2018年は、県内外の数

多くのイベントに出演する機会をいただき大変貴重な1年となりました。本業も多忙となり出演できるのが不安でしたが、メンバー全員の思いと努力によって、すべての依頼を引き受けることができました。多くの方に、大山僧兵太鼓と大山に興味を持っていただけたので、とても心に残っています。

大山発 日本の魅力を世界へ

6月には大山夏山開き、10月には大山紅葉まつりのオープニングセレモニーに出演予定です。

先輩方がアメリカ、ヨーロッパで演奏をした実績があるので、わたしたちも県内外はもちろんですが世界各国で演奏をし、大山のみならず鳥取県、そして日本の伝統芸能の魅力を伝えていきたいです。

メンバー募集中です。ご興味がある方はお問合せください。

